



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第3号
令和4年4月21日

四気=川越中学校訓 「 やる気 ほん気 こん気 げん気 」

学校教育目標 『 自立した生徒の育成 -自律・調和・創造- 』のもと

- ・自分を大切にすること
 - ・他者を大切にすること
 - ・粘り強くやり切る
 - ・人を大切にすること
 - ・安全で安心できる
 - ・地域や保護者とともにある
- 生徒 学校 づくりを目指します

学校教育ビジョン (別紙参照にて) から・・・

『 粘り強くやり切る生徒 』 という考え方について

「かわごえ・まなびのコンパス」に記載されている川越町教育基本方針では、『豊かな心』を土台とした学校教育、社会教育を推進しています。『豊かな心』を培うために必要なことは次の3つです。

- ① 非認知能力を高めること・・・「意欲・自制心・誠実さ・思いやり・優しさ・協調性・**やり切る力**」などのことをいい、人間の個性や心の面であったり内面的な、数値や点数で測れないことをいいます。
※「認知能力」とは「知識・技能」にあたる部分のことで、学力テスト等で測れるもの
- ② 個性を大切にすること (自分を大切にすること)
- ③ 相手の個性を尊重すること (相手を、他者を大切にすること)

川越中学校「学校教育ビジョン」では、**教育目標の一つに、『粘り強くやり切る生徒』**という大切にしたい柱があります。よく、こんな言葉を耳にします。「うちの子は、苦手なことだと、すぐにあきらめてしまう」「なかなか我慢することができない」など・・・。「持続力(粘り強くやり切る力)」の低い子どもは、もともと持続力が低いとか、あきらめがちな性格だからとかではなく『粘り強くやり切った経験』や『最後まであきらめずに頑張った経験』が不足しているからだと思います。言い換えれば、『粘り強くやり切った経験』や『最後まであきらめずに頑張った経験』を積み重ねれば、「自分はやり切ることができる」と感じ、『**持続力(粘り強くやり切る力)**』がついていき、**向上させることができる**と思います。このような経験をいっぱいさせてあげたいと考えています。

だからこそ、川越中学校では、このように『粘り強くやり切る生徒』の育成に力をいれていきたいと思っています。

4/13(水) 「前期学級役員認証式」 4/19(木) 「部活動仮入部体験」より・・・

川越中学校は、『 先輩を見て学べる学校 』です



【前期認証式】4月13日(水)前期生徒会・学級役員・専門委員会の認証式を感染症拡大予防の観点から、オンラインにて開催しました。本来は、私(校長)から、生徒会役員や専門委員会、学級役員となったみなさん一人ひとりに、「認証状」を渡せたらよかったのですが、全校を代表して、



生徒会本部役員のみなさんのみとしました。担任の先生方からは、オンラインにて学年の生徒会担当の先生から、呼名をされたとき、大きな声で「ハイ！」と返事をし、その場に起立してくれたことを聞かせてもらいました。その姿勢がとっても嬉しかったです。

認証式の中で、私からは、全校のみなさんに次の内容を伝えました。

① 【 ありがとうの感謝の気持ちとお礼、そして、拍手 】

- ◆昨年まで、生徒会、専門委員会、クラス役員として学校を支えてもらったみなさん。ありがとうございました。
- ◆今回の認証状を受取ることができなかったけど、クラスや仲間、大事な学校に想いを馳せ、勇気を出して前期専門委

員会や学級委員に立候補してくれたみなさんに、心からお礼と拍手をしたいと思います。(画面を通して)

② 【 仲間づくり、そして、学校づくりに一緒に取り組んでもらう全校のみなさんへ 】

- ◆周りの人たちに目を向け、思いを馳せ、心を開くことによって、人の意見を素直に聴くことができてくると思います。
- ◆今回立候補してくれた人たちが「自分の想いを自分の言葉で伝えたこと」。この繰り返しが必ず相手に伝わり、相手の気持ちや相手のしんどさ、相手のつらさなどにも気づいていけるようになると思います。
- ◆自分の心を開きながら相手の心を開く努力をしていく。そうしたら川越中学校はもっともっと「優しくあたたかな学校」になっていく。みんなでそんな仲間づくり・学校づくりをしてほしい。先生たちと一緒に学校づくりをしていきましょう。



前期生徒会長『3年2組 加藤 規佑 さん』から、認証式を終えた感想とこれからのに向けての想いを語ってもらいました。

学校のために、みんなのために、いろんな人が委員会であつたり室長や学級役員などをみんなで協力しながら取り組めるのは川越中の良いところだと思います。今回、係などになれなかった人も、みんなで生徒会活動であつたり、クラスや学年の活動を一生懸命に取り組むことで、学校全体が盛りあがったり、嬉しいことがいっぱい出てきたりすると思うので、川越中学校みんな

で頑張っていきましょう。特に、生徒会活動や委員会活動に対して、「こうしたほうがいい」「こういうことをやっていきたい」などの意見や声を聴かせてほしいです。(加藤 規佑)



【 部活動見学 】 4/11(月)・12(火) 【 部活動仮入部体験 】 4/14(木)・18(月)・19(火)

1年生の多くのみなさんが楽しんでいる「部活動」。3年間しっかりと取り組めるよう、自分に合った選択ができるように、部活動見学期間と仮入部体験期間を設けました。どの部活動も1年生のキラキラとした笑顔と表情がいっぱい。

2・3年生の先輩たちは、後輩がしっかりと見学している様子から、さらに一生懸命な姿を見せてくれていました。

仮入部体験では、1年生の後輩に対して、ボールの投げ方、キャッチの仕方、練習中の動き方、部活動内のルールの確認など、2・3年生の先輩たちがわかりやすい言葉で、丁寧に教えてくれる姿が印象的でした。1年生のみなさんには、自分の決めた部活動に一生懸命取り組み、中学生の時期だからこそできる経験を大切にしてほしいですね。

ちょうどいま、2年生の「道徳」で、『先輩』という題材を取り上げての授業を行ったそうです。授業を通しての振り返りから、こんなコメントを書してくれた人がいたので紹介をしたいと思います。

【 道徳授業 2年生男子の振り返りから ～ 原文のまま ～ 】

自分の行動や言動を後輩が見ていて、「あ・・・こいつやばいな」とか、「むじゅんしてる」とか思われないうちに、自分の言動と行動をしっかりとみつめていきたいです。1年生は2年生の鏡ということは、2年生を見ているということなので、後輩に尊敬されるような先輩になりたいです。

1年生のみなさんにとって、2・3年生の先輩たちの姿は どのように映ったでしょうか？ どのように感じただでしょうか？ これからはじまる部活動だけではなく、普段の学校生活を通して、いっぱい先輩の良いところをマネしてほしいと思います。川越中学校は、「先輩を見て学べる学校」なのです。

